

会 議 録

会 議 の 名 称	第 4 回宜野湾市振興計画審議会
開 催 日 時	平成 28 年 12 月 26 日 (月) 開会：14 時 00 分 閉会：17 時 00 分
開 催 場 所	宜野湾市役所 庁議室
出 席 委 員 氏 名	◎瀬口 浩一 (琉球大学 法文学部 人文社会科学研究科 教授) ・小野 尋子 (琉球大学 工学部 環境建設工学科 准教授) ・福里 清孝 (宜野湾市商工会 会長) ・高江洲 義之 (宜野湾市観光振興協会 会長) ・多和田 眞光 (宜野湾市社会福祉協議会 会長) ・藤波 潔 (宜野湾市 PTA 連合会 副会長) ・大城 ちえ子 (宜野湾市自治会長会 会長) ・佐喜眞 祐子 (宜野湾市認可保育園長会) ・高里 健作 (宜野湾市国際交流協会 会長) ・友利 清和 (一般公募委員) ・桃原 幹雄 (一般公募委員) ・宮城 邦子 (教育委員) ・国吉 孝博 (市企画部長)
欠 席 委 員 氏 名	○岩田 直子 (沖縄国際大学総合文化学部 人間福祉学科 教授) ・波平 道子 (宜野湾市婦人連合会 会長) ・多和田 眞隆 (宜野湾市老人クラブ連合会 会長)  ※◎は宜野湾市振興計画審議会会長、○は副会長を示す。
事 務 局	《企画部企画政策課》 宮城主幹、本永係長、仲泊枝查、玉寄主事 《ランドブレイン株式会社》 石村、野沢
会 議 内 容	1 開会 2 議事 (進行：会長) (1) 第 3 回審議会における意見の集約と事務局の考え方について (2) 継続審議 (目標 2・基本施策 5「高齢者介護・福祉の充実」以降) 3 その他 (次回の日程等について) 4 閉会
会 議 資 料	資料 1 第 3 回振興計画審議会におけるご意見の取りまとめ 資料 2 第 2 回振興計画審議会 - 会議録 (修正版) 資料 3 第 3 回振興計画審議会 - 会議録
そ の 他 必 要 事 項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>これより、第4回宜野湾市振興計画審議会を開催する。</p> <p>まず、配布資料の確認をさせていただく。</p> <p>今回は前回の第3回審議会でお配りした基本計画（原案）を継続審議のための資料として使用する。</p> <p>議事に入る前に、第3回審議会にて委員よりご指摘のあった「第2回振興計画審議会 - 会議録」の修正を行っている。</p> <p>これでよろしければ確定させていただく。</p>
委員	異議なし。
事務局	それでは、議事に入りたいと思う。議事については、瀬口会長に会議の進行をお願いしたい。
瀬口会長	それでは議事に入る。議事「(1) 第3回審議会における意見の集約と事務局の考え方について」、事務局より説明願いたい。
事務局	事務局より、資料1に基づき説明。
瀬口会長	事務局より説明があったが、質疑等あるか。無いようであれば、了承ということで良いか。
委員	異議なし。
瀬口会長	それでは続いて議事「(2) 継続審議」に移る。前回からの続きということで、目標2、基本施策(5)「高齢者介護・福祉の充実」から基本施策ごとに審議いただきたい。
委員	<p>1ページ戻ってしまうが、「障がい者（児）福祉の充実」に関連した意見である。27ページの「②自立に向けた住環境・就労支援」について、免許取得は仕事をする上で必要不可欠である。また、車両改造支援も必要かと考えるため、免許取得、車両改造の支援について、記載した方が良いと考える。免許取得については「③障がい児への早期支援」にも関係する。</p> <p>また、介護車の車両改造の予算面での支援も必要ではないか。</p>
事務局	<p>現在、市として、免許取得、車両改造支援は予算としてはあるかと思う。ニーズとマッチしていない可能性はある。基本計画に記載できるか、担当課と確認したい。</p> <p>介護車の改造支援が必要という意見については、ご提言として担当</p>

	課にお伝えしたい。
委員	27 ページの「④日常生活支援の充実」について、主な取り組みに「バリアフリー環境の充実」がある。市の飲食店マップ、ホームページを確認すると「バリアフリー対応」とあるにも関わらず実際に行ってみると、段差が見られる。これは市に条例がないためであると思うので、「バリアフリーに関する条例の制定」を「主な取り組み」に入れてほしい。
事務局	現在、市として条例はなく、県の条例に準じている形である。本市では平成 15 年に「宜野湾市バリアフリーのまちづくり基本計画」を策定しているので、内容を確認し、検討したい。
委員	28 ページの「現状・課題」に「平成 24 年度から 28 年度にかけて、市社会福祉協議会は「生きがい対応型デイサービス事業」を実施しているとあるが、デイサービス事業自体は平成 24 年以前から行っている。
事務局	担当課に確認し、文言等の修正を検討したい。
瀬口会長	それでは続いて目標 2、基本施策（6）「生活困窮世帯への支援・労働福祉の推進」について意見はあるか。
委員	子どもの貧困対策事業について、昨年度の沖縄県内の調査で不登校児（高校生）の不登校の背景は「貧困」、「障がい」、「学習遅延」であった。中でも家庭の貧困が強く影響している。 貧困対策として、子ども食堂やフリースクールのようなものがあるのか。
事務局	子どもの貧困の取組として、31 ページ「②子どもの育ちの保障と充実」の「取組方針」文中「子どもの居場所づくり」が挙げられる。現在、役所が補助を出し、実施している箇所が 2 ヶ所、子ども食堂と呼ばれるような取組を行っている。その他にも市内には 2、3 ヶ所民間が行っている子ども食堂のようなものもある。 子どもの貧困の取組としてフリースクールはないが、公民館にてボランティアの人に来てもらい学習の支援をしてもらっている。 生活保護世帯の子どもを対象とした、高校への進学を目指した通塾制度にも取り組んでいる。

	<p>現在、取り組んでいるものは、国の補助を活用して行っている。市としては計画的に取り組む必要があると考えているため子どもの貧困対策に関する計画を作る予定である。</p>
委員	<p>31 ページ「①低所得者福祉の充実」に関連して、「住生活基本計画」の中で、公営住宅の必要供給量を算出するが、その際に、福祉に関する供給量の把握が十分に行われぬおそれがある。</p> <p>部署が分かれているため分かりにくいので、どちらかにリンクさせた方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>公営住宅への一人親世帯かつ多子世帯を優先した枠を設ける取り組みは行っている。公営住宅という枠だけでなく福祉との関係の中で供給できる方法を検討する必要があると考えている。</p>
委員	<p>「②子どもの育ちの保障と充実」について、子どもを守るためのシェルター、居場所づくりが重要と考える。DV 対策にも繋がると思うので、「主な取り組み」に追加を検討してほしい。</p> <p>また、文中に「子ども」とあるが 18 歳未満の人のことを示すのか。</p>
事務局	<p>子どもの居場所づくりについて、担当課と確認したい。また、「子ども」は 18 歳未満の人を指す。</p>
委員	<p>「労働福祉」とは、子育てが必要な方に職業相談、訓練等を行うということか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>「現状と課題」に、民生委員、児童委員の取り組み及び生活支援、就学支援について記載してはどうか。</p> <p>また、年金事務所との連携についても記載してはどうか。</p>
事務局	<p>担当課に確認し、記載を検討したい。</p>
瀬口会長	<p>それでは続いて目標 2、基本施策 (7)「健康づくりの推進」について意見はあるか。</p>
委員	<p>33 ページ「①健康づくり活動の充実」の「主な取り組み」に「食育の推進」とあるが、具体的に何を指すのか分からない。例えば、市として健康食を開発する、生産者の顔が見える食育、など具体的な取り組みを考えていただきたい。</p> <p>また、「②疾病予防対策の強化」に特定健診の受診率向上を目指す記</p>

	<p>載がある。受診率の向上は大事であるが、受けた時のメリットが見えない。そういった仕組み作りができるの良い。</p> <p>また、特定健診結果の活用に関する取り組みは行われているのか。琉球大学では学校を通じ、健康に係る「ゆいプロジェクト」が行われている。「健診の結果を活用する」という文言が入っても良いと思う。</p>
事務局	<p>食育に関しては、教育委員会、給食センター、観光農水課などと連携しながらの地産地消を含めた取り組みを検討している。また、「生産者の顔が見える」ということで現在、大山給食センターでは野菜農家の方と直接契約し、給食を提供している。</p> <p>特定健診に関しては、自治会を通じた日曜健診が行われ、その結果を受けて、保健指導が入ることとなっている。また、宜野湾市は健康都市として、HPで「健康」を特出ししている。健診結果の活用も考えていくべきであると思うので、ご意見として担当課にお伝えする。</p>
委員	<p>「①健康づくり活動の充実」に関連して、「子どもの食と生活リズム」に関する実態調査を行ってほしい。また、「取組方針」の文中に「家庭や学校、<u>保育、幼稚園、地域等と連携し</u>」と追記してほしい。</p> <p>「④母子保健活動の推進」の「取組方針」文中に「学校等と連携し、思春期保健の充実を図る」とあるが、地域のお母さん等も活用してほしい。</p>
事務局	<p>「食と生活リズム」について、本市では子どもの貧困調査を行う予定であるので、その調査の中で先行して進めていける部分は進めていきたい。また、保育、幼稚園等との連携について、記載を検討したい。</p> <p>「思春期保健」については、学校への出張講座を行っている。そういった活動をさらに充実させていきたい。</p>
委員	<p>市の健康保険税は県内で何番目か。</p> <p>市長も特定健診の受診率の向上を奨励しており、健康保険の財源の問題の観点からお話しされていた。受診率が向上すると、医療費が減る、といったチェックは行われているのか。</p>
事務局	<p>分析までは進んでいないかと思う。</p>
委員	<p>特定健診の受診率向上に向けてどのようなことが行われているのか、市民に仕組みがわかるように記載を検討してほしい。</p>

委員	<p>宜野湾市の国民健康保険税は他市町村と比較してもかなり低い方である。本来であれば介護保険制度導入の際に、保険税見直しのタイミングがあったが、値上げされておらず、国保の財政が圧迫されている。これまで、赤字の状態であるため、一般会計から繰り出して補てんしていたが、その余裕もなくなり、現在は補てんしても赤字の状況である。平成30年度より国保事業の広域化に伴い、県において標準税率が示されるので、国保財政の健全化に向けて検討しているところである。現状では、まだ動き出せていない状況である。</p>
委員	<p>保険税は上げていく必要がある。支出を抑える必要があり、そのためにどう市民を健康にするのか、ということに重点を置いてはどうか。模索していただきたい。</p>
委員	<p>特定健診受診率が高い自治会には表彰なども行っている。しかし、財政を黒字にしていくための抜本的な取り組みはできていない状況である。</p>
委員	<p>自治会ごとに表彰しているのであれば、それと併せて医療費が抑制された、など受診率向上による効果も併せて見せていく必要もあるかと思う。</p>
委員	<p>特定健診の受診率に反映される対象が40～74歳である根拠は何か。</p>
事務局	<p>高齢者の医療に関する法律第20条に規定がある。</p>
委員	<p>特定健診の受診率は毎回低い。自己負担で健康維持のために診断を受けている人の把握はされているのか。</p>
事務局	<p>国保加入者の特定健診の受診については、把握できている。</p>
瀬口会長	<p>それでは続いて目標3、基本施策(1)「未来を担う人間力の育成」について意見はあるか。</p>
委員	<p>35ページ、「①確かな学力の向上」の「取組方針」に、キャリア形成教育について記載を検討してほしい。</p> <p>また、「②豊かな心・健やかな体の育成」の「主な取り組み」に不登校児に対する取り組みが出てこないため、追加を検討してほしい。</p>
委員	<p>宜野湾市教育振興基本計画が活かされていると思う。</p> <p>34ページの「現状・課題」の欄に虫歯保有率について記載があるの</p>

	<p>で、「主な取り組み」に具体的な書き込みができれば良いと思う。</p> <p>また、不登校児に関する現状が記載されていない。「抜本的改善充実に係る支援事業」についての文章を削除し、不登校児童の現状について、記載を検討してほしい。</p> <p>それに伴い、目標指標に不登校児童に関する項目の追加を検討してほしい。</p>
事務局	<p>キャリア形成教育の「取組方針」について記載を検討する。</p> <p>不登校児については、「現状・課題」と「主な取り組み」で項目の追加を検討する。</p>
委員	不登校児に関しては、支援体制を充実させることが重要である。
委員	不登校児に関する目標指標について、単純に数が減れば良い、ということではない。議論する必要がある。
委員	虫歯予防に関連して、現在市で小学校を対象に医療費助成が行われていることを記載した方が良いのではないか。
事務局	担当課に確認し、検討したい。
委員	基本施策のタイトルに「人間力」とあるが、何を指すのか。
事務局	<p>宜野湾市教育振興基本計画の中で使われている文言である。同計画では、「未来を生きる子どもたち誰もが自立した一人の人間として夢に向かって力強く生きていくとともに、社会の一員として役割を果たすことができる「未来を担う人間力」を身に付けることは大切です」という記載がある。</p>
委員	「人間力」の定義づけが必要ではないか。
委員	34 ページの「目指すまちの姿」にて人間力について説明してはどうか。
事務局	ご提案の通り、「目指すまちの姿」にて記載を検討したい。
瀬口会長	それでは続いて目標 3、基本施策（2）「家庭・地域が連携した学校づくりの推進」について意見はあるか。
委員	<p>37 ページ「①地域と連携した教育活動の充実」の「主な取り組み」、「学校支援地域本部を中核とした学校支援の推進」について、中央教育審議会にて、「学校支援地域本部」を「地域学校協働本部」へと変える方針が出ている。それを踏まえての位置づけ、内容の確認をしてい</p>

	ただき、取組方針等に変更があれば、反映をお願いしたい。
事務局	担当課に確認し、修正を検討したい。
委員	施策名「家庭・地域が連携した学校づくりの推進」について、施策名と施策の展開が合っていないように感じる。
委員	中期教育方針においてキーワードとして「開かれた学校」というフレーズが出てきている。施策名を「開かれた学校」してはどうか。
事務局	ご提言の通り、施策名を検討したい。
委員	<p>「②教職員の指導力の向上」に「近隣の大学や地域内外の多様な人々との協働実践を図り」とある。琉球大学の先生が特別支援教育の研究グループを作っている。地域の保育園を卒業した子どもが普天間小学校に入り、そこで抱えた課題の事例発表、研究会などが行われており、そのコーディネーターとして琉球大学の先生が関わっている。宜野湾市も連携していくべきかと思う。</p> <p>部活、課外活動に関しては、どこに記載しているのか。</p> <p>また、「③教育環境の充実」に関連して、現在保護者の方やシルバーの方が子どもの通学路で安全指導などを行っているが、そのあたりの記載は必要ないか。</p>
事務局	協働実践に関する取り組みについて、具体的に書けるものがあれば、記載を検討したい。
委員	<p>部活動については、小学校と中学校と事情が違う。</p> <p>また、学校教員の就労環境の観点か、子どもの育成という観点か、どの観点で位置付けるのか難しいところかと思う。</p>
委員	私のイメージとしては、子どもの育成という観点で「①地域と連携した教育活動の充実」になるかと思った。
事務局	課外活動については、教育委員会と確認し、検討したい。
委員	ICTを活用するという記載が見られるが、教員採用試験でも導入されるのか。
事務局	研修で導入するということとなるかと思う。採用試験では難しいかと思う。
瀬口会長	それでは続いて目標3、基本施策(3)「地域活動を通じた学びの充実と文化の継承」について意見はあるか。



委員	文中、「地域活動団体」と「社会教育団体」とあるが、2つの違いは何か。同じ団体を意味するのであれば統一した方が良いのではないか。
事務局	担当課に確認したい。
委員	39 ページ「②郷土を学びつなぐ環境の充実」に関連して、市史編纂に関する取組方針を記載していただきたい。公文書の管理・保管はぜひ取り組んでいただきたい。
事務局	現在、市の文化課にて公文書の管理・保存に取り組んでいる。取組方針などへの記載について、担当課と確認し、検討したい。
委員	39 ページ「②郷土を学びつなぐ環境の充実」に関連して、博物館がリニューアルし、今後歴史等に関する市のコアの一つとなることが考えられる。「取組方針」に博物館に関連した記載をしてはどうか。併せて学芸員などの人材の活用も含めて行ってほしい。
事務局	博物館では現在様々な企画、展示を行っている。「博物館友の会」もあり、ボランティアの方を活用しながら博物館を身近に感じてもらえるよう取り組みを進めている。 博物館の活動について、記載を検討したい。
瀬口会長	それでは続いて目標 4、基本施策（1）「観光・リゾート産業の振興」について意見はあるか。
委員	40 ページの「現状・課題」に駐車場不足に関する記載があるが、それが、「施策の展開」に反映されていない。 宜野湾市では土地が無い中、民間のゼビオやサンエーなどに、イベント時に駐車場スペースを開放してもらえるようお願いしているところである。 行政として、協力を求め、働いていく姿勢を見せる必要がある。
委員	コンベンションセンターでのイベント時などは、移動手段の問題もある。県外、海外から人が来るときの移動手段として那覇からのバスがあるが、本数が少ない。その他に移動手段としてレンタカーがあるが、駐車する場所もない。民間の駐車場を無断で使用している現状もあるため、そこを解消する必要がある。 西海岸地域のスポーツ施設等に移設させ、西海岸は観光に特化する、など抜本的な解決策を模索する必要がある。駐車場不足対策は「主な

	<p>取り組み」に入れている必要がある。</p> <p>イベントは那覇市でも行っている。那覇市も駐車場が無い中成功しているのは公共交通が充実しているからである。</p>
事務局	<p>西海岸地域のスポーツ施設等の移設等については、大山地区の区画整理事業や基地返還といったタイミングでの検討になるかと思う。</p> <p>ゼビオの駐車場については、誘致時の条件として、駐車場の貸し出しをお願いしている。</p>
委員	<p>強制的に借りることはできない状況である。</p>
委員	<p>人を配置して車を誘導するなど、安全性を確保し、了承をもらえないと使えない状況である。</p>
事務局	<p>コンベンションエリア会議などで、駐車場不足に対して地域事業者と連携する話はあるか。</p>
委員	<p>そもそもイベント自体に反対という人もいる。民間だけでやりくりすることは難しい。</p> <p>また、コンベンションエリアは海拔が低く、災害時の避難ことを考えると危険である。避難訓練を実施してみると、海拔高いところまで非難するのに1時間かかった。危険がある場所に人を集めるということは、問題があるところかと思う。考え方を整理する必要があると思う。</p>
事務局	<p>駐車場不足については、引き続き検討していきたい。すぐにできる解決策はない状況である。</p>
委員	<p>駐車場不足は死活問題である。「駐車場不足解消に向けたチームの結成」など、少しでも具体的に動きだしてほしい。</p>
委員	<p>課題として駐車場不足が書かれているのに、「主な取り組み」には何も書かれていないと、何もしないと悪かれてしまう。積極的な姿勢を見せてほしい。</p> <p>また、「滞在型観光」とあるが、そのためにはホテルの誘致など、滞在するための取り組みが必要ではないか。</p>
事務局	<p>駐車場不足については、次の施策でも記載されているところであるが、検討したい。ホテルについては誘致して増やすというよりも、稼働率を上げることを考えている。</p>

<p>委員</p>	<p>駐車場不足問題については、大学でもよく言われることである。公共交通をうまく活用する必要がある。台湾では安い運賃でマイクロバスを10分スパンで運行させている。そういったバスを要所から西海岸へ向けて運行させるなど、仕掛けていく必要がある。それと併せて、インフラ整備も行っていく必要があると思う。</p> <p>41ページ「①観光資源の創出と拡充」の「主な取り組み」、「特産品の開発支援」について、支援するだけでなく市が企画し、開発していく必要があるのではないかと、それが健康、医療に繋がっていけば市の特徴となり、尚良いと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>駐車場不足については、インフラ整備や公共交通も併せて考えていく必要があると考えている。</p> <p>また、市の特産品に関連して、市が主催し、研究開発したソースがあり、それをイベントにも出されたこともあった。</p>
<p>委員</p>	<p>市と商工会が共催して特産品推奨を行った実績があるので、そのあたりをPRしても良いのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>駐車場不足に関連して、沖縄科学技術大学院大学（OIST）ではバスを直接構内に乗り入れることができるよう、県が支援し、バス停を新設している。</p> <p>また、本市においては、公共交通機関の円滑な利用が重要である。コンベンションとなると、空港までいかに定時で着くことができるかが重要である。「駐車場不足解消に向けたチームの結成」はぜひ検討してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>那覇空港からホテルを経由しながら市内にバスが出ているので、そういったものを活用できるのではないかと。</p> <p>特産品の開発について、チームはできているのか。</p>
<p>委員</p>	<p>実際にお菓子会社から声かけしていただいたこともある。しかし、耕作人の高齢化もあり、材料の量産、加工ができない状況である。6次産業化も本市において難しい状況である。本市でやる場合は、生産、加工、販売ルート、それぞれの事業主体が連携したスキームを作る必要がある、なかなか根付かない現状である。</p>
<p>委員</p>	<p>6次産業化できない、それぞれの関係者が繋がらない、という問題があると思うが、そこを繋ぐことを行政としてやっていただきたい。</p>

	<p>少量ながらも黒糖を生産し、希少価値をつけて販売して成功している例もある。そういった事例を参考に、既成概念から抜け出し進めていただきたい。</p>
委員	<p>田芋産業については後継者問題に行きつくため、なかなか難しいと思う。</p>
瀬口会長	<p>それでは続いて目標4、基本施策(2)「コンベンション支援機能の充実」について意見はあるか。</p>
委員	<p>「目指すまちの姿」に「国や県との連携のもと」とある。仮設避難港については、埋め立てて公園を作るという話があったが国の管轄ということで進まなかった経緯がある。</p> <p>43ページ「①コンベンション・リゾート環境の整備・充実」の取組方針に「仮設避難港の利用促進に向けた取り組み」とあるが、打開策はあるのか。</p>
事務局	<p>仮設避難港については、課題である。MICE誘致に併せた仮設避難港の整備という話があった。</p> <p>今すぐに何かできるものではないが、国、県と話し合い、西海岸地域の活用も含めて検討しているところである。</p>
委員	<p>MICE誘致に併せた仮設避難港の整備の話があった際に、埋め立てるという話が出た。しかし埋め立ては相当の費用がかかる。仮設避難港整備に関する民間企業意向調査を行うと、埋め立てる、というより護岸をきれいにして海を活用する提案が多くあった。民間活用を視野に入れつつ、市、国、県で調整していきたい</p>
委員	<p>予算の問題があるのであれば、民間の力を借りることで解決していけそうである。</p>
委員	<p>コンベンションセンターについて、行政にしかできないこととして保税特区に位置づけるなど、制度的な支援を行ってはどうか。保税特区に位置づけることができれば、見本市などの際に、海外からの展示品に税金を支払わなくてよい。</p> <p>また、今後東海岸にMICE施設が出来る。宜野湾市のコンベンションセンターは美しい外観、景観を有しているなど、東海岸のものとは別の特徴を持つものとして位置付けていけると思う。</p>

事務局	コンベンション・リゾート環境の整備・充実に向けて、担当課と連携しながら、どのような取り組みを行うことができるか検討したい。
委員	43 ページ「②受入態勢の強化及びプロモーション活動の充実」に関連して、宮崎県の綾町では実業団、学生の合宿・キャンプを受け入れて成功している。参考にし、プロスポーツの受け入れだけでなく学生レベルのキャンプの受け入れも行ってはどうか。 市内ではマーチングの練習場所に困っていることもあるので、スポーツだけでなく、そういった団体の受け入れも考えてはどうか。
事務局	ご提言として、担当部署にお伝えしたい。
委員	車いすマラソンの合宿の受け入れもできるのではないかと。現在、基地内で練習が行われている。パラリンピックの合宿誘致もできるのではないかと。他市では、MICE 誘致委員会はパラリンピック誘致委員会にまると変わっている。
事務局	ご提言として、担当部署にお伝えしたい。
委員	43 ページ「①コンベンション・リゾート環境の整備・充実」の「主な取り組み」に「西海岸地域における商業・リゾート施設の誘致及び充実」とあるが本当に誘致できるのか。西海岸は普天間飛行場の開発とセットで考えていく必要があるのではないかと。
委員	リゾート施設誘致については、国、県と連携しながら調整していきたい。
委員	43 ページ「②受入態勢の強化及びプロモーション活動の充実」について、活動に取り組んでいる方のきめ細かいニーズを把握し、関係者と連携しながら取り組みを行っていく、というストーリーが分かるよう、「取組方針」に記載をしてほしい。
事務局	担当課に確認し、検討したい。
瀬口会長	本日の議事はここまでとし、次回は「目標 4 基本施策（3）地域商店街の活性化」から審議を行う。本日いただいた意見については、事務局にて調整するというところで継続審議として良いかと。
委員	異議なし。
瀬口会長	最後に資料 3 の第 3 回審議会会議録の確認をしていただきたい。これで良ければ確定とする。

委員	異議なし。
事務局	次回の審議会は1月12日の午前9時30分～12時30分を予定している。本日の審議会を踏まえご意見等があれば、1月6日までに事務局あてに送付願いたい。
瀬口会長	これにて第4回振興計画審議会を閉会する。